



平成29年 8月1日 二条保育園発行

暑い日が続いています。プール遊びが始まり、やっと体調良く登園できる日が増えてきて、うれしい限りです。手足口病が乳児クラスで見られたものの重症化せず過ごせています。感染症の流行る時期でもあるので、ひとりひとりの様子をしっかり見て、健康に過ごせるように気を配っていきたいと思っています。

園庭のヤマモモの木。実に舌鼓をうった後、ハッサリと伐採。少し寂しさもありますが、もう新芽も！そして畑は日々、収穫。きゅうり・トマトが日替わりでもれなく給食に付いてきます。

行事予定

- 3日(木) 月雪観劇(アスニー)
- 4日(金) そうめん大会
- 9日(水) 乳児健康診断
- 23日(水) 川遊び(月・星組)



今年も保育士・幼稚園教諭を目指す学生の実習を受け入れます。よろしくお願いします。

迷子の持ち物が増えています。実習生や夏期バイトもクラスに入りますので、名前の無いもの、消えているものがあると困ってしまいます。全ての持ち物に名前の記入をお願いします。

今、お手伝いがブーム。きっと、ずっとブーム。5歳児月組の子たちは食事を終えると、色々なクラスへ向かいます。何をしているかと言うと…「ほら、あ〜んして。おいしい?」と1歳児ことり組の子どもに食べさせてあげたり、入眠時、背中を優しくさすりトントンとしてあげて「ネンネよ〜」と寝入るまで傍についたり。起きてからの着替えをそろえたり…。「おっ!できるね」とうなるほど。保育士の言うことには「イヤイヤ」の子どもたちも、お兄さん・お姉さんの言うことには「ふんふん」とうなずく。「あら、どうしたことよ」会話といったようなコミュニケーションの取り方、今はまだなのですが、なにか心地よく通じ合うものがあるのだろう…とほほえましくうらやましく感じます。「Aちゃん(1歳児)がな、B(5歳児)のこと“ママ”って呼ばはるねーん。なんか、間違ったはるわ、うふふ」とまんざらでもない様子。

二条歴代のお兄さん・お姉さんの賜物。してもらったことはしてあげられる…生活の中で、色々な年齢の子たちと触れ合うのは、意図的に効果を狙うというよりは感じ合う、通じ合うことができる、それを体感する…それぞれが、それをどう感じるのか。

「小さい子に優しく」といったことは、よく言われますが、知らず知らずのうちに、日常に溶け込んだ生活から生まれるのが本物なのだろうと思います。